

+++++ 森の研修会のご案内 +++++

森の研修会担当 高橋賢次

会員の皆さん

高尾の森づくりの会は、多様な樹種が混じった針広混交林を目指して、高木となる広葉樹の群状集団植樹に取り組んできました。

一方、板当作業地に向かう途中には、二年前(2015年)に広範囲に皆伐が行われ、その跡地にカツラやケヤキ他が植樹され(2016年)、広葉樹林化が図られていることは、ご存知のことと思います。

ところがこの夏、この皆伐跡地が背の高いタケニグサ(※1)に覆い尽くされ一面の草原になった状況が観察されました。

これを見て「植樹された広葉樹は育つのだろうか?」と心配になった会員も多いことでしょう。

そこで今回の研修会では、この皆伐跡地(板当202林班)の観察を行います。

参加されない方も、板当エリアへの道中に観察されると良いと思います。

※1 タケニグサ;葉は切れ込みがあり形はキクの葉に似るが大きい。葉の裏や茎は粉をふいたように白っぽい。高さは1.5~2m以上に達する。(ウイキペディアより)

1. 日時;2017年12/30(土)9:30~13:30

※諸事情により年末開催になったことをお詫びします。

2. 場所;板当202林班の皆伐跡地

3. 観察内容

(1) 植樹された広葉樹の生育状況

(2) その他

4. 概略スケジュール

9:30~ ベース小屋に集合

9:40~10:30 板当て202林班に移動

10:30~12:00 皆伐跡地の観察

12:00~13:30 昼食後ベース小屋に戻り、解散

5.参加申し込み

高橋賢次宛て <takahashi1740@yahoo.co.jp> 参加メールをお送りください